

【和訳文】

## GIF のメッセージ

### 「福島第一原子力発電所事故に関する GIF の対応について」

GIF は、2011 年 3 月 11 日に日本で発生した大規模な地震と津波、その結果発生した福島第一原子力発電所の事故により被災された方々に、心よりお見舞い申し上げます。現行および将来世代の原子力発電所にとって、福島の事故はあらゆる自然事象を考慮して原子力安全を確約することの重要性を再確認させました。

GIF は、次世代の原子力発電所（第四世代(Gen-IV)）の開発に協調して取り組む国々の国際的な集合体です。福島の事故を受けて、GIF のメンバー国では、稼働中の原子力発電所の安全レビューを行い、教訓をくみ取り、適切な安全性向上対策を進めています。そのため、これらの対策により既存の原子炉の安全性を確認することになるでしょう。GIF は、現在展開されている、原子力発電所の最新世代（第三世代(Gen-III)と呼ばれる）には、すでに安全性を高める設計改良が組み込まれていることを指摘します。その延長線上として、GIF は、2030 年以降の産業導入が期待される次世代原子力発電所が、世界中の運転経験と社会の期待を反映した適用可能な最高の安全知見に基づき設計されることが重要であると考えます。

第四世代原子力発電所の設計は、より高度な安全性、信頼性、経済競争力、廃棄物の最小化、資源の有効利用及び核拡散への抵抗性を有した、大幅に高い性能を提供する革新的な技術に基づくものとなるでしょう。GIF では、2002 年に発表された技術ロードマップに基づき、最も有望な 6 種類の第四世代原子力発電所の設計を共同開発中です。この 6 つには、ナトリウム冷却高速炉、超高温ガス冷却炉、ガス冷却高速炉、超臨界圧軽水冷却炉、鉛冷却高速炉及び熔融塩炉があります。

GIF は、福島事故の教訓を反映した第四世代原子力発電所のための安全設計クライテリアを整備しており、ナトリウム冷却高速炉の安全設計クライテリアについては 2012 年の完成を予定しています。

GIF は、2011 年 10 月 6～7 日にスイスのルツェルンで行われた会合において、事故を防止して影響を緩和し、また最も高い安全性に到達する第四世代原子力発電所に関する共同研究開発を行っていくことを再確認しました。GIF の研究開発成果が、第四世代原子力発電所の安全性とその他の高度な機能を実証する短期的な原型炉および実証炉プロジェクトに組み込まれるでしょう。

以上